

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

吉 田 退職を機に思いきって句会の門を叩きました。そこで八木会長と出会い、気負うことなく俳句を楽しく学ぶことができました。そのご縁で、滑稽俳句協会の立ち上げと共に会員にシフトしました。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

吉 田 「幸せ」とは人の心が決めるものですね。滑稽俳句に触れることで遊び心が生まれ、心にゆとりが得られることです。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

吉 田 句作りの上で特に「滑稽」を意識することはありません。俳句の特性の一つに滑稽が含まれているからです。あえて言うなら、浮かんだ句におかしみの強弱を持たせつつ、そこはかとないペースの滲む、そんな句を目指しています。

編集部 滑稽俳句を続けて良かった事は？

吉 田 何気なく過ごす日々の中にも感動や発見があります。それらを句にしたためておくと、後で振り返った時、句の深い部分に込められた自分でも気付かなかった心の遍歴を見ることができるような気がします。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

吉 田 情報収集は五感をフル活用し、決め手は第六感で。そして何より大切なことは、季語を一句の中で最大限働かせることです。

【代表句】

青木の実妻は切札隠し持つ
裸木の捨つるものなき強さかな
父の日や老いを理由とせぬ気骨
左手に聖書右手に蠅叩き
大海は夢のまた夢水馬